

『心の修業』

福井県
福井養正館
中学2年生 奥村莉菜

「福井養正館で稽古する！」そう心に決めて道場に通り始めて四年がたち、私も今では中学二年生。中学生というのは小学生の時とは全然違って、私の「心」もだんだん変化していきました。

その「心」はいつもいい風に変化するものでなく、前に進めないこと、嫌になりあきらめてしまうこと、逃げだしてしまう『弱い心』に変化することが多くあります。

小学生のころの私は、毎日休むことなく全力で頑張っていました。稽古は厳しくてつらい時もあるけれど「やる」と決めたからには『強い心』で必死に努力してきました。

中学生になり、私の中の『強い心』と『弱い心』は、稽古のたびにぶつかり合っていました。部活動をしてから道場に通う毎日、片道三十分かかります。大変なことも多いけれど私の「心」の中は、

「強くなりたい！！」

この思い一つです。

と言いたいところなのですが、時々、自分に負けてしまうことがあります。面白くないことがあると、

「もう剣道やめる」

「稽古はいかんし・・・」

道場の前まで連れて来てもらったのに、車の中で泣いていたことは何度もありました。

「稽古しないと勝てない！」

「強くなりたい！」

でも、

「剣道したくない！」

といった『強い心』と『弱い心』のぶつかり合いで私の心の中はつぶれそうです。そんな時、お母さんはずっと隣にいて、沈んだ気持ちの私に優しく言葉をかけてくれます。今まで

「剣道したくない！」

って泣いていた私の心もすっと落ち着き、

「稽古がんばってくるね。」

と言い、道場に自然に足が向いていきます。お母さんの言葉は「魔法のことば」なのです。稽古前にそんな「心」の葛藤があったことも忘れて、いざ道場に入るとそこはいつもの風景。先生は厳しく、大きな体で立っています。そして道場のみんなは大きな声で稽古をしています。この風景が私は大好きです。

「さあがんばろぞ！」

って気持ちに変えてくれます。ここは、私の大切な場所です。先生がいて、仲間がいて、そして周りには見守ってくれる家族がいる。とても素敵な場所です。だからどんなことがあっても

「またがんばろ！」

って思えるのは、この場所があるからだと思います。

『大きな心で、たくさんの大切な人を支えられる人になりたい。』

『みんなのことをわかってあげられるような、強くて優しい人になりたい。』そう心から思っています。

私が何があってもあきらめずに頑張ろって思えるのは道場の先生がくれた言葉があるからです。

「絶対莉菜を強くする！だから一緒にがんばろう・・・」

周りから見ればなにげない先生の一言かもしれませんが、悩んでいた私にとっては、暗い闇の「心」が、ぱっと明るくなっていくのがわかるそんな言葉でした。一生この言葉を忘れません。この時の「心」の変化を忘れません。これから先も先生を信じて頑張っていきたいです。

先輩たちが卒業したら次は私が福井養正館のみんなを引っ張っていく番です。先輩たちが抜けたとしてもみんなが「心」を一つにして稽古し、自信をもって試合に臨めるようにしていきたいです。

今の私の目標はたった一つ。

「まだ一度も立ったことのない日本武道館。

憧れの日本武道館で、最高の試合をしたい。」

必ずまた先生を日本武道館につれて行きます。これが私にできる恩返し。

道場の先生を信じて、仲間を信じて、家族を信じて、そして自分を信じて、まっすぐに正しい道を進んでいきたいです。そのために今日も剣道を通じて「心」の修行です。もちろん「強い心」で・・・